

## 【今週の注目疾患】

### インフルエンザ

2015年5週の県全体の定点当たり報告数は、4週の37.70から減少し28.42となった。引き続き報告数が多い状況が続いており、今後の流行状況に注意が必要である。

千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザについて

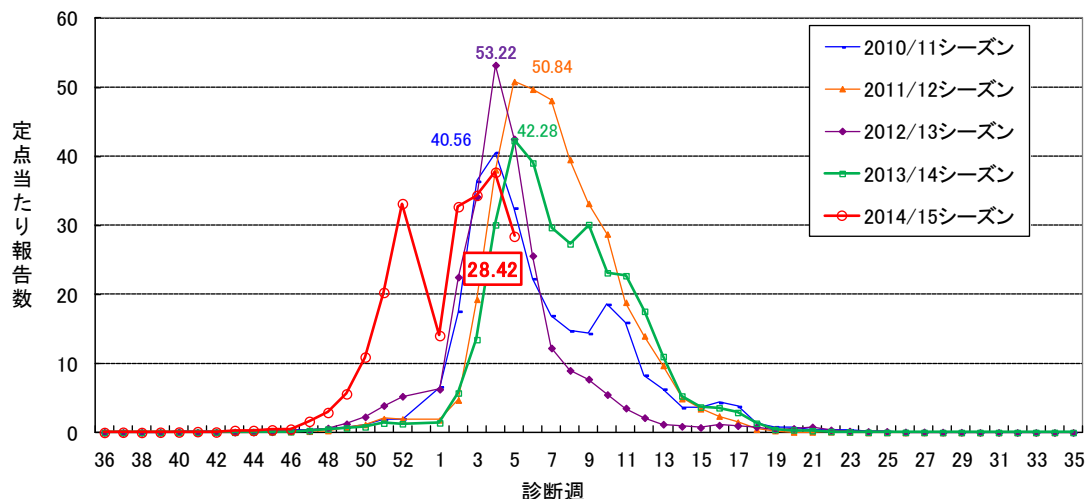
URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/index.html>

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中6保健所管内で警報レベルの30を超えている。30を超えた保健所は、海匝(45.14)、印旛(36.58)、船橋市(34.53)、山武(33.89)、習志野(31.81)、君津(30.15)だった。

2015年5週の年齢群別報告割合は、5～9歳34.7%、10～14歳18.0%、0～4歳17.7%が多く、2014/15シーズン全体では、5～9歳28.2%、10～14歳19.4%、0～4歳15.4%だった。

2015年5週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、5,765例中A型5,532例(96.0%)、B型198例(3.4%)、A and B型3例(0.1%)、A or B型32例(0.6%)だった。B型の検出割合が4週の1.7%から増加した。2014/15シーズン合計では、43,853例中A型42,716例(97.4%)、B型778例(1.8%)、A and B型13例(0.0%)、A or B型346例(0.8%)だった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

